

1983年6月29日

開発教育協議会ニュースレター(No.2)

初夏の候、各位にはますますご健勝のうちにお過ごしのことと存じます。さて、昨年12月に当協議会が発足して以来、約半年が過ぎました。理事会および事務局の体制がようやく整備されるに伴い、各地の情報も次第に入るようになってまいりました。ここにニュースレターとして近況をご報告申し上げます。予算的な制約もあり、粗末を印刷ですが、ご啓蒙のうえお目どおしいただければ幸いです。

I 1983年度協議会活動計画策定される。

去る5月12日に青年海外協力隊事務局総堂を会場に本年度の定期総会が開催され、以下のような柱から成る活動計画が承認されました(出席者41名)。

日本における開発教育の推進に関心を寄せる多くの団体、個人の結集を図り、規約に定められた本協議会の目的を達成するため、1983年度は特に以下の諸活動を積極的に推しすすめる。

1. 開発教育の意義を広く社会に訴え、その推進を図つていくための諸活動を拡大する。
  - (1) 学校教育、社会教育、マスコミ・報道、行政各関係者への積極的なアプローチ
  - (2) 関係機関、団体への広範依頼、啓蒙活動の要請
  - (3) 全国的あるいは地域別シンポジウム、研究セミナー開催への助力および支援
  - (4) 協議会機関誌「開発教育」の定期的発行
  - (5) 高校や大学内サークル、あるいは学園祭、市民文化祭等における途上国紹介や開発問題関連プログラムの呼びかけ、その企画への相談と協力
2. 会員相互の経験交流、情報交流を促進していくための機能をいつそう拡充する。
  - (1) 研究集会の企画と実施(8月20日~21日、別紙参照)
  - (2) 実践事例集の編集、発行  
学校および社会における開発教育実践レポート集(分析と提言、10月発行予定、A5サイズ70~80ページ)

(3) 機関誌「開発教育」におけるミニ情報コーナーの充実

3. 協議会そのものを強化していくための動きを拡大する。

(1) 会員の募集と増強(目標:50団体、個人100名)

(2) 海外諸機関との連携強化

(3) 理事会および事務局機能の強化

情報収集機能を向上させるためのネットワークづくり

情報サービスセンター、クリアリングセンターとしての機能の充実

4. その他

(1) 国際会議への代表派遣、あるいはその企画、招請、海外調査プロジェクトの実施(今後の検討課題)

(2) 「国際青年の年」(1985年)への対応

II 新しく理事、監事が選出される。

5月の総会では活動計画の策定に加え、向こう1年間にわたつて理事、監事の任務をつとめる次の11名が選出されました(順不同、敬称略)。

- <理事>
- 榎本 正(日本ユニセフ協会)
  - 井上 伊(中央青少年団体連絡協議会)
  - 金谷 敏郎(国立教育研究所アジア地域教育協力室)
  - A、マタイス(上智大学社会正義研究所)
  - 室 浩(東和大学国際教育研究所)
  - 松本 洋(国際協力推進協会)
  - 渡辺 明弘(青年海外協力隊OB会)
  - 渡辺 忠(オイスカ産業開発協力団)
  - 田中 義信(日本YMCA同盟)
- <監事>
- 久保 欣士(立正佼成会青年部)
  - 鈴木 喜志雄(国際開発センター)

なお、6月9日に開催された第7回理事会の席上、協議会代表理事として室浩氏が再選されました。

#### III 「開発教育シンポジウム」が開催される。

5月22日に名古屋商工会議所ホールを会場に、合計152名の参加者を得て開催されました。主催は国連広報センター、名古屋YMCA、開発教育協議会で、愛知県、名古屋市、国連大学、ユニセフ駐日事務所ほかが後援した。当日の記録は事務局（名古屋YMCA）によつてまとめられ、後日、協議会会員にも配布されることになっています。なお、シンポジウムのもようは5月24日のNHKラジオ「モーニングカレンダー」で広く紹介されました。

#### IV 機関誌「開発教育」の発行

去る5月に創刊号（1,000部）が発行され、関係機関、団体、個人に頒布された。現在、第2号の編集企画中。テーマ「子どもたちの途上国認識」—その生成と発展—。9月下旬には完成の予定です。

#### V 会員の入会状況

協議会に入会を希望し、その手続きを完了した会員総数は、団体会員23団体、個人会員39名（うち単会員5名含む）となっています。引き続き会員の募集、その増強を図るため、事務局において関係団体のリストアップを急ぐ一方、すでにメンバーとなつた各団体の広報紙を通じて個人の入会を呼びかけています。協議会ではできるかぎり多くの教師（学校教育）がこの運動の意義を憶え、参加と関心を示してくださることを願っています。

#### VI 「第1回研究集会」参加者募集中！！

本年度活動計画の一つとして「開発教育研究集会」をきたる8月20日、21日の両日、日本青年館（東京・新宿）を会場に開催いたします。各地で試みられている開発教育の実践事例を多くの人びとと共有し、その目標や方法を共にさぐるのがわらひです。詳しくは同封の案内書をご覧ください。なお、実践事例の発表者を公募中です。会員各位の積極的なご参加を期待いたします。

#### 事務局からのお願い

1. 上記「研究集会」の案内について、関心をもつ個人および団体、グループ等をご紹介ください。事務局より案内書を直接送付するか、あるいはご紹介者に一括お送り申し上げます。
2. 機関誌「開発教育」（第2号）に掲載される「情報ネットワーク」の原稿を募集しています。集会の企画（10月以降開催、一般の参加が可能なもの）、研究論文、記事（新聞）、雑誌、報告書、記録などに掲載されたもの、収録誌名、タイトルほか）等をできるかぎり多く紹介していきたいと考えています。事務局宛7月末までにお知らせください。

以上

開発教育協議会事務局

〒160 東京都新宿区西早稲田2-3-18-61

TEL 03-207-8085